

企画・イベント実施報告書

タイトル	弘前さくらまつりにてごみゼロブースを展開
実施期間	2021年4月29日（木）～5月3日（月）
開催場所	青森県弘前市／弘前公園
参加人数	7,650人
主催	CHANGE FOR THE BLUE in青森 実行委員会
協力団体	弘前市環境課
開催概要	<p>CHANGE FOR THE BLUE in青森実行委員会は、弘前市などと連携し、「弘前さくらまつり」期間中の2022年4月29日（金）～5月1日（日）で、弘前さくらまつりのエリア内で「ごみゼロブース」を展開しゴミ拾いの呼びかけなどを実施いたしました。</p> <p>このイベントは、日本財団が推進する海洋ごみ対策プロジェクト「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」の一環で開催いたしました。</p>
施策詳細	<p>祭りを楽しみながらゴミ拾い！</p> <p>コロナ禍という事もあり、園内では飲食エリアが限られていたり、通行制限があったりしました。こうしたことから、飲食エリア近くにブースを設けたり、祭りの通行路でゴミ袋を配布したりして、園内を歩きながら、自然とゴミ拾い活動を行ってもらうように心がけ、実施しました。</p>

企画・イベント実施報告書

タイトル	ラインメール青森 海ごみゼロマッチ
実施期間	2022年5月29日
開催場所	むつ運動公園陸上競技場／青森県むつ市山田町43-1
参加人数	442人
主催	CHANGE FOR THE BLUE in青森 実行委員会
協力団体	ラインメール青森FC
開催概要	<p>CHANGE FOR THE BLUE in 青森実行委員会は、JFLラインメール青森FCにご協力をいただき、2022年5月29日(日)にむつ市のむつ総合運動公園陸上競技場で行われた対FCティアモ枚方との試合前に選手・スタッフ・観客などが一緒に競技場周辺で清掃活動を行う「ラインメール青森FC海ごみゼロマッチ」を開催いたしました。</p> <p>このイベントは、日本財団が推進する海洋ごみ対策プロジェクト「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」の一環で実施しました。</p>
施策詳細	<p>私たちは、2020年より、JFLラインメール青森FCにご協力をいただき「海ごみゼロマッチ」と題した試合＆清掃活動を開催しています。今年度は5月29日(日)に、むつ総合運動公園陸上競技場でのFCティアモ枚方との対戦を「海ごみゼロマッチ」として開催して、試合の前に選手・スタッフ・観客などが試合会場周辺の清掃活動を実施し、参加者への海洋ごみ問題の周知啓発とともに、海洋ごみを出さないという意識を醸成するきっかけを作りました。</p> <p>また、来場者には、海洋ごみの現状などを学ぶために製作した「ラインメール青森×CHANGE FOR THE BLUE青森」の冊子を配布しました。</p> <p>清掃活動では、選手とスタッフ、観客、地元の少年サッカークラブの子供たちが試合会場周辺の緑地帯で1時間に渡り一緒にゴミ拾い作業を行いました。試合会場の周りをきれいな環境で維持したいという参加者の思いもあり、草むらに隠れていた細かなごみも探すなど、一生懸命に活動していました。</p> <p>また、清掃活動終了後に、参加した子供たちを対象にクイズ形式で海洋ごみについての現状を学ぶ時間を設けて周知啓発活動を行いました。</p>

企画・イベント実施報告書

タイトル	青森ねぶた祭とのコラボ
実施期間	2022年8月2日～2022年8月7日
開催場所	青森市中心街
主催	CHANGE FOR THE BLUE in青森 実行委員会
協力団体	青森山田ねぶた実行委員会
開催概要	<p>CHANGE FOR THE BLUE in 青森実行委員会は、青森山田ねぶた実行委員会にご協力をいただき、2022年8月2日（火）から7日（日）の期間で行われた青森ねぶた祭の期間中で、青森山田ねぶた実行委員会の運行日に合わせ、ねぶたの隊列の中に、前ねぶた「CHANGE FOR THE BLUE ねぶた」を登場させ、観光客などに対し、海洋ごみ削減を呼びかけました。</p> <p>また、昨年度制作した、ねぶた14人の合作ねぶたも今回の運行で披露されました。</p> <p>このねぶたにも、海洋ごみ削減を呼びかけるメッセージが掲載されており、2台のねぶたを通じて、祭りに訪れた観光客などに、CHANGE FOR THE BLUEの趣旨などを発信しました。</p> <p>この取り組みは、日本財団が推進する海洋ごみ対策プロジェクト「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」の一環で実施しました。</p>
施策詳細	<p>青森山田ねぶた実行委員会と連携したねぶたは8月3日（水）～8月7日（日）の期間で運行しました。</p> <p>今年も、第6代ねぶた名人の北村隆さんのご協力を賜り、ねぶたを制作いただきました。</p> <p>今回は、海・川・山が一体となつてつながっており、街のごみを減らすことができれば、海ごみも減らせる！というメッセージを込めた看板を前後と左右の2種類設置。</p> <p>このねぶたを運行することで、海洋ごみ問題の周知啓発とともに、海洋ごみを出さないという意識を醸成するきっかけづくりを狙い、運行をいたしました。</p> <p>また、コロナ禍で、ねぶた祭の実施が叶わなかった2年の間に、ねぶた師14人が1台のねぶたを合作するという歴史的なねぶたにも、海洋ごみ削減を呼びかける看板を設置しており、今回、初めてこのねぶたも運行され、祭を観覧していたいた方々に、海ごみゼロを呼びかけることができました。</p> <p>また、祭り期間中は、ねぶた小屋がおかれている、青い海公園内にごみゼロを呼びかけるブースを設置。</p> <p>ここには、拾い箱を置いたほか、ゴミ袋を配布しての、ゴミ拾い活動の呼びかけを行いました。</p> <p>祭り全体で飲食はできたため、ゴミを街中に捨てないよう、持ち帰ってもらえるようにゴミ袋を配ったほか、ねぶた祭りを楽しんでもらいながら、自然とゴミ拾い活動を行ってもらうように心がけ、実施しました。</p>

企画・イベント実施報告書

タイトル	ごみ拾い専用回収BOX「拾い箱」を青森県初！セブンイレブンの店舗に設置！
実施期間	2022年9月16日～2022年9月30日 ※朝6時～夜10時まで
開催場所	セブン-イレブン 青森造道3丁目店（青森県青森市造道3丁目2-2）
主催	CHANGE FOR THE BLUE in青森 実行委員会
協力団体	セブンイレブンジャパン
開催概要	<p>CHANGE FOR THE BLUE in 青森実行委員会は、海洋ごみ削減のためのごみ拾い専用BOX「拾い箱」を、セブンイレブンジャパンの協力のもと、青森県青森市の「セブンイレブン造道3丁目店」に設置しました。</p> <p>この取り組みは、日本財団が推進する海洋ごみ対策プロジェクト「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」の一環で実施しました。</p>
施策詳細	<p>私たちは、昨年度より、「拾い箱」に取り組んでいましたが、今年度はより多くの県民の方へ、「拾い箱」の活動へ周知するべく、セブンイレブンジャパンと連携をし、拾い箱の設置につながりました。</p> <p>拾い箱のデザインをしてくださったのは、店舗近くの青森市立造道小学校の5年生の児童の皆さんで、それぞれが思う、海洋ごみ削減の想いを拾い箱のデザインに込めていただきました。</p> <p>今回の拾い箱の設置をきっかけに、ごみ拾い活動がより積極的になったと考えています。</p>

企画・イベント実施報告書

タイトル	海洋ごみ出前授業
実施期間	2023年1月26日～2023年2月22日
開催場所	いずれも青森市立 佃・長島・橋本・堤・金沢・小柳小学校
主催	CHANGE FOR THE BLUE in青森 実行委員会
協力団体	青森県営浅虫水族館・NPO法人青森県環境パートナーシップセンター 青森市
開催概要	CHANGE FOR THE BLUE in青森県実行委員会は、青森県環境パートナーシップセンター及び。青森市に協力をいただき、2021年度に開発した海洋ごみ問題について学べる教材を改良しました。この教材を活用し、青森市内の小学校6校で出前授業を行いました。
施策詳細	児童たちに対し、オリジナルの海洋ごみ問題について学ぶことができる教材を配布し授業を行いました。 子どもたちからは、海洋ごみがこんなにたくさんあるなんて知らなかった。 海のゴミかと思っていたけど、自分たちの生活しているごみが影響しているなんて驚いた。 といった声が聞かれました。

企画・イベント実施報告書

タイトル	八戸市と連携し、海洋ごみ削減を発信！！
実施期間	2023年1月26日～2023年2月22日・・・八戸市内小学校に教材配布 2023年3月13日～2023年3月26日・・・デジタルサイネージ周知
開催場所	青森県八戸市
主催	CHANGE FOR THE BLUE in青森 実行委員会
協力団体	青森県営浅虫水族館・NPO法人青森県環境パートナーシップセンター 八戸市
開催概要	CHANGE FOR THE BLUE in青森県実行委員会は、 浅虫水族館、青森県環境パートナーシップセンター、八戸市に協力をいただき、 八戸市の海ごみの情報を入れ込んだ教材を制作。 この教材八戸市の小学校5年生1,879名に配るとともに、八戸市内2か所にあるデジタルサイネージで30秒の素材を2週間でのべ約1,800分の周知を行った。
施策詳細	こちらの教材は、八戸市内でも児童向けの冊子は今までなく、八戸市環境課としても、子供たちの学びとして大いに役立てたいという言葉を伺いました。 その他、デジタルサイネージで周知していただくことで八戸市の海ごみについて一人ひとりへの実施活動の一助になればという事も伺いました。 効果測定として約115,000台の車両に訴求することができた。

事業 I D : 2022006909

事業名 : CHANGE FOR THE BLUE in青森県 (CFB・海と日本2022)

団体名 : CHANGE FOR THE BLUE in青森県 実行委員会

極秘



弘前さくらまつりにてごみゼロブースを展開



弘前さくらまつりにてごみゼロブースを展開



ラインメール青森 海ごみゼロマッチ



ラインメール青森 海ごみゼロマッチ



青森ねぶた祭とのコラボ



青森ねぶた祭とのコラボ

事業ID：2022006909

事業名：CHANGE FOR THE BLUE in青森県（CFB・海と日本2022）

団体名：CHANGE FOR THE BLUE in青森県 実行委員会

極秘



ごみ拾い専用回収BOX「拾い箱」を青森県初！セブンイレブンの店舗に設置！



ごみ拾い専用回収BOX「拾い箱」を青森県初！セブンイレブンの店舗に設置！



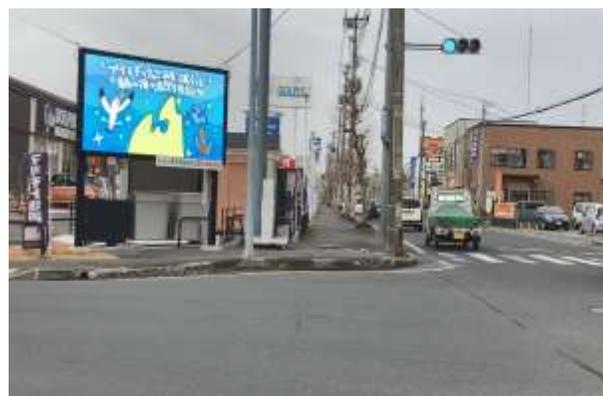
海洋ごみ出前授業



海洋ごみ出前授業



八戸市と連携し、海洋ごみ削減を発信！！



八戸市と連携し、海洋ごみ削減を発信！！

<p>参加した子ども・保護者からの声</p>	<p>アンケートや当日の様子で参加者からのリアルな声を箇条書きで記載（ラインメール青森コラボマッチ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・綺麗だと思っていた競技場のまわりにたくさんゴミがあって驚いた。（弘前さくらまつり） ・綺麗な桜の場所にゴミがあるのはよくない。 ・公園のお濠からも川・海へ繋がっていると思うから綺麗にしたい。（出前授業） ・海のごみはあまり関係ないと思っていたけど、陸からのごみが約8割と知り、驚いた。 ・未来の青森の海を綺麗にするためにごみ拾いとкаしたい。
<p>配布物</p>	<p>① 青森市での出前授業での教材：500部 ② 八戸市との連携開発の教材：2800部</p> <p style="text-align: center;">①</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

自社媒体露出

・「JNNニュース」 放送日：2022年5月30日 ラインメール青森とのコラボマッチ・ごみ拾い活動の様子



・「JNNニュース」 放送日：2022年9月17日 拾い箱のお披露目式の様子

